



身近な食品を題材に熱心に講義する松本さん

16年度のひまわり大学が開講

本年度のひまわり大学が8月19日に村公民館大会議室で開講しました。16年度は全6回の予定で受講生は39人。この日は開講式と第一回教室が開催され、25人が参加しました。

開講式では角田教育長が「今年から回数を減らしての開催となりました。ぜひ、より多くの参加をお願いします。また男性も出席できるような講義も開催していきたいと思っています」とあいさつ。

つづいて行われた第一回教室では県食品安全課の松本佳祝さんが「食品の表示

と安全性」をテーマに講義を行いました。松本さんは「産地表示をするようになってから、生産量と市場に出回っている量の違いが問題になってきました。生産地で作られている以上の量が実際に市場に出回っていたのです。今は消費者がしっかりと食品の表示についても監視していかなければいけません」と講演。他にも安全な食品を食べるための注意点などについて説明がありました。

ツキノワグマを捕獲

3年振りに村内でツキノワグマが捕獲されました。捕まったクマは体長160センチ、体重70キログラムほどのオス親グマ。8月4日に罠が仕掛けられ、11日には捕獲されました。

村内で最後にクマが捕まったのは今から3年前の平成13年9月。それから、罠などが仕掛けられていたのですが、捕獲までには至りませんでした。今回捕獲されたのは赤谷地区内で、トウモロコシ畑が荒らされているのを畑の耕作者が通報。横浜市少年自然の家赤城林間学園な

ど、民家に近いことから捕獲が許可されました。村有害鳥獣捕獲隊が獣道に罠（捕獲オリ）を設置し、捕獲に成功しました。

村では、クマによる農作物などの被害を減らす為、随時捕獲を行っています。村内でクマを見たり、クマによる被害があったと思われる場合には村産業課（☎24-5111内線28）まですぐにご連絡ください。



捕獲したクマの前で

簡易水道事業功労賞として堤好雄さんが表彰される

堤好雄さんが群馬県簡易水道事業功労者表彰を、加藤浅男さんが利根沼田簡易水道事業功労者表彰を受けました。

この表彰は、簡易水道事業に対して長年に渡っての功績が認められたものです。

堤さんは昭和44年から35年間、加藤さんは昭和59年から20年間村簡易水道運営委員を務められました。お二人とも長年に渡りごろうさまでした。



表彰された堤好雄さん



道路沿いのサルビアの手入れを行う役員

婦人会でサルビアを植える

村婦人会（吉野一江会長）では8月31日に総合運動公園周辺でサルビアの手入れを行いました。

このサルビアは7月2日に同会で植え



苗植えの様子



咲きはじめたサルビア

付けを実施したもので、会員たちが種からおこした苗2000株を公園内の管理棟付近や総合運動公園北側入口の道路などに植え付けました。

サルビアの手入れには役員20人が参加。参加者たちはカマを手には、サルビアの根本に生えた雑草を手際よく刈り取り、手入れを行いました。

毎年、村民運動会で参加者の目を楽しませてくれる同会のサルビア。今年も村民運動会には満開の時期を迎えるようです。

若妻会でマリーゴールドの手入れ

8月6日に村若妻会連絡協議会（岡田喜代美会長）でマリーゴールドの手入れを行いました。場所は村総合運動公園内で、道路脇などに植えられたマリーゴールドの草むしりを行いました。当日は同会の会員約80人が参加し、それぞれ道具を手に約1時間ほどで手入れを終えました。

若妻会連絡協議会では毎年総合運動公園内にマリーゴールドを植えており、今年も6月28日に苗の植え付けが行われました。この日は会員約90人が参加。100鉢のマリーゴールドがきれいに植え



満開のマリーゴールド



苗植えの様子

付けられました。このマリーゴールドは今満開の時期を迎えており、総合運動公園を訪れる人たちの目を楽しませています。



カマを片手に草むしりをする会員たち

三代目が入りの湧水地の下草刈りを行う

出入の湧水地（村指定文化財）の下草刈りが7月2日に行われました。

作業を行ったのは村内の農業後継者で構成されている三代目（代表星野高章）で、草刈機などを使い手際よく作業を行い、およそ2時間ほどで周辺は見違えるほどきれいになりました。周辺はゴミが大量に捨てられており、軽トラック1台分のゴミが集められました。

三代目は昨年7月に結成され、現在は10人で活動中。主な活動として、月に一度の勉強会をしています。



大量の粗大ゴミが投棄されていました。